

# 第41回定期大会開催!!

## 運動方針を満場一致で決定!!

JR四国労組は7月8日(金)、「JRホテルクレメント高松」(香川県高松市)において第41回定期大会を開催した。大会には、四国各地より代議員、特別代議員のほか、3年ぶりに傍聴者も参集し、来賓と合わせ約120名が出席。新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見通せない中、これまでの知見を活かし、検温やマスク着用、マイク等の小まめな消毒、社会的距離を確保した会場設置など、感染症拡大防止対策を徹底し安全を確保した上で実施した。大会スローガンには「団結創造 実践 全組合員の団結力と実践力で苦境を克服し、誇りを持ち安心して働ける環境の実現を通じた明るい未来を創造しよう!」を掲げ、①安全・安定・安心輸送の確立、②組織の強化・拡大、③労働環境の改善を柱とした運動方針を満場一致で可決し、新年度をスタートした。



明るい未来を実現する想いを皆で共有

10時30分より中野執行委員の開会挨拶で幕を開けた。大会は、昨年同様感染対策を徹底し、代議員、特別代議員のほか、3年ぶりに傍聴者も参集。来賓と合わせ約120名出席の「安全・安定・安心輸送の確立」「組織の強化・拡大」「労働環境の改善」を柱とした2022年度の運動方針を満場一致で決定した。執行部を代表し挨拶に立った大谷執行委員長は、「コロナ禍により多くの活動が制約され、対面によるコミュニケーションを重要とする労働運動が思うように実施できなかった」と語り、力強く取り組んでくれた各級機関役員・組合員に対し謝意を述べるとともに、3本柱の方針に沿った所信と合わせ、政策・政治の取り組みについて言及。組織を一丸となって課題解決に向けて取り組む必要性を説き、「コロナ禍前の環境に戻るには時間がかかる」と想定されるが、全組合員の団結力と実践力で苦境を克服し、誇りを持ち安心して働ける環境の実現を通じて明るい未来を創造しよう」と訴えた。



議長に選出された長吉代議員

大会には来賓として、連合四国ブロックより連合香川・福家会長、四国交通労協・砂田議長、JR四国・西牧社長、ジェイアール四国バス・高須賀社長、JR連合・荻山会長らが出席し、連帯と激励の挨拶を受けた。また、大会途中には第26回参議院議員選挙のJR四国労組推薦候補である川合孝典氏からもZoomで激励を受けた。大会議長には、高知支部より長吉代議員を選出。議事では、執行部から「2022年度運動方針(案)・予算(案)」の提案があったほか、働く者の立場から中長期的ビジョンを展望し、誇りをもち安心して働き続けることのできる環境の実現を目指す提言「私たちが考える『持続可能なJR四国グループの人財確保(素案)』」を提起。代議員、特別代議員29名より質疑を受け、すべての議案が満場一致で可決された。その後、矢野青年女性会議議長より大会宣言案が提起され、これを承認。最後に、JR四国労組の責任ある労働運動を展開し、必ず明るく、未来を切り拓くべく、大谷執行委員長が「団結コンパロー」で定期大会を締めくくり、新年度のスタートを切った。

安全・安定・安心輸送の確立について  
労使共通の最重要課題である「安全の確立」に向けて歩みを止めてはならない。将来にわたって安全最優先を貫き通し、社会に信頼される企業経営を持続させることが重要である。JR四国労組では、労働組合の強みを活かしたチェック・提言機能を發揮し、安全の取り組み強化に努めてきた。安全確保には規程やルールの遵守が必要であり、それらが守られない場合には職場実態や働く者の意識にも踏み込んだ実効的な対策が求められる。会社は「ルールの棚卸し」を進めるが、働く側からも具体的な提案を行い、責任ある役割を果たしていかねばならない。一方で重大事故に繋がる事案や傷害事故も頻発している。グループ会社等も含めた安全な職場づくりにむけた体制の強化を図るとともに、安全意識



大谷執行委員長

### 大谷執行委員長挨拶(要旨)

将来不安が広がっている今こそ、民主的で健全な労働組合の真価が問われる。4月以降、管理者組合員との意見交換を促した職場対話行動を実施し、多くの組合員は会社施策に理解を示し、組合活動に理解を示し、組合員の前向きな受け止めを促していることを実感した。しかし、コロナ禍による活動への影響もあり、コミュニケーション不足や役員への不満が生じていることを認識。あらためて原点である分業と、そこに集う組合員一人ひとりが主役であることを広く展開するとともに「JR連合ビジョン」で掲げた理念である「出会う、ふれあひ、語り合い」を通じて、強く運動を展開していく。

この間、組合員の声のみならず会社の考え方等も広く收拾し、要求内容にこだわりを持った提案型の労使協議を行ってきた結果、コロナ禍での厳しい状況であったも、鉄道・バスともに多くの制度改善を図ることができた。期末手当・賞与交渉においても、今夏は前年を上回る結果を得られ、ジェイアール四国バスでは3年ぶりに賞与として月数での支給を引き出すに至った。

しかし、施策の目的や効果、明確な方向性が十分に伝わっておらず、労使で協議・整理した内容に新たな問題が発生していることなどが判明。また、施策のスピードには現場だけでなくお客様も含め厳しい反応が顕在化している。今後も会社提案に拍車がかかることが想定されるが、必要な社内周知・説明を求めるとともに、各級機関と連携した情報共有・意見と集約を基に労使協議を充実させ、立ち止まらぬ検証・協議を行う考えである。労働組合としてもこれまで以上に意思疎通を図らなければならない。本定期大会では「私たちが考える『持続可能なJR四国グループをつくる人財確保(素案)』」を提起する。私たちの業務が持つ『社会的使命』は地域社会や経済活動に極めて重要であり、「人財確保」が必要不可欠。働く者の立場からも中長期的ビジョンを展望し、

具体的提案を通じた「誇りを持ち安心して働けることのできる環境づくり」を実現していきたい。今後のJR四国労組運動の議論の土壌として、来年2月の定期本部委員会を目処にとりまとめることとしたい。本部・支部・分会を含め様々な機会を通じて議論をお願いするとともに、とりまめた内容を基に経営協議や団体交渉を通じて会社と協議していく。

- ◆来賓の皆様 (順不同)
- 連合香川 福家良一 会長
  - 連合香川西地域協議会 石川 哲也 事務局長
  - 四国交通労協 砂田篤志 議長
  - 四国旅客鉄道(株) 西牧 世博 代表取締役社長
  - 山内 研吾 代表取締役社長
  - ジェイアール四国バス(株) 高須賀 浩 代表取締役社長
  - 宮井 照暁 総務部次長
  - JR連合 荻山 市朗 会長
  - 森安 祐貴 産業政策局長
  - JR四国 西牧 世博 代表取締役社長
  - 連合香川 福家良一 会長
  - 連合香川西地域協議会 石川 哲也 事務局長
  - 四国交通労協 砂田篤志 議長
  - 四国旅客鉄道(株) 西牧 世博 代表取締役社長
  - 山内 研吾 代表取締役社長
  - ジェイアール四国バス(株) 高須賀 浩 代表取締役社長
  - 宮井 照暁 総務部次長
  - JR連合 荻山 市朗 会長
  - 森安 祐貴 産業政策局長

- ◆祝電・メッセージ (順不同)
- 国会議員 小川 淳也 衆議院議員
  - 玉木 雄一郎 衆議院議員
  - 仁木 博文 衆議院議員
  - 白石 洋一 衆議院議員
  - 永江 孝子 参議院議員
  - 四国電力関連産業 労働組合総連合
  - 日本私鉄労働組合 四国地方連合会
  - 日本郵政グループ 労働組合四国地方本部
  - タダノ労働組合
  - 東海旅客鉄道労働組合
  - 西日本旅客鉄道労働組合
  - 九州旅客鉄道労働組合
  - 日本貨物鉄道産業 労働組合
  - 四国労働金庫 森本 佳広 副理事長
  - ※理事長代理 こくみん共済coop 井出 哲夫 本部長
  - 全国交通共済生協 浅岡 秀幸 本部長
  - 四国事業本部
  - JR四国労働組合 山本 悟史 団長
  - JR北海道労働組合
  - ジェイアール・イーストユニオン

# 質疑答弁

今村代議員 (高知支部)



◆春闘交渉における育児・介護休業取得時の昇給の取扱い改善に御礼申し上げる。しかし、せっかく制度が改善されても、多くの組合員が取得すれば要員受給を逼迫することになる。会社がどう考えているのか伺いたい。あわせて、良い制度を使うことを組合員がためらうことがないよう適切な要員配置をお願いする。

## 中野執行委員

(香川支部)



◆コロナ禍で分会活動も思うように行っている。新入組合員などは、JR四国労組運動を浸透させ、組合の必要性をしっかりと認識してもらいたい。JR東日本のように組合不要論が広まらないよう取り組む必要があると感じる。そうした組織強化の観点から、ユニオンスクールへ分会役員が参加することも一つの手段と考える。

◆春闘交渉では、3ヵ月を上限にということではあるが、昇給所要期間に算入できることとなり、かねてより求めてきた育児・介護休業取得時の昇給の取扱いについて改善を図ることができた。要員については、現在信用降車型ワンマン運転の実施やアシストマルスの導入等効率化施策が進められている。これにより生

## 武智副執行委員長



◆制度改善を図ってもそれが組合員に知られていなければ意味がない。教育機会を活用し、組合の存在意義を認知してもらえよう取り組みを進めていきた。

## 石川執行委員

(香川支部)

◆現況プレッシャーが大きい。参加者の大多数が青女世代ということから、本部青女の役員も参加し、その後に活かせる関係性を作るようにしていかたい。提案の方向性について、分会役員が関わり、フォローしていくことも組織強化の観点から有用と考える。今後検討していかたい。

◆制度改善を図ってもそれが組合員に知られていなければ意味がない。教育機会を活用し、組合の存在意義を認知してもらえよう取り組みを進めていきた。◆乗務員共済は組合員であることが加入資格となっている。乗務員共済運営委員会でも議論しており、加入資格についてどう取り扱うべきかという議論が挙がった。65歳以降の掛金は功労給付から抽出してはどうかという提案も出た。引き続きどうあるべきか協議していかたい。

◆制度改善を図ってもそれが組合員に知られていなければ意味がない。教育機会を活用し、組合の存在意義を認知してもらえよう取り組みを進めていきた。◆乗務員共済は組合員であることが加入資格となっている。乗務員共済運営委員会でも議論しており、加入資格についてどう取り扱うべきかという議論が挙がった。65歳以降の掛金は功労給付から抽出してはどうかという提案も出た。引き続きどうあるべきか協議していかたい。

◆制度改善を図ってもそれが組合員に知られていなければ意味がない。教育機会を活用し、組合の存在意義を認知してもらえよう取り組みを進めていきた。◆乗務員共済は組合員であることが加入資格となっている。乗務員共済運営委員会でも議論しており、加入資格についてどう取り扱うべきかという議論が挙がった。65歳以降の掛金は功労給付から抽出してはどうかという提案も出た。引き続きどうあるべきか協議していかたい。

◆制度改善を図ってもそれが組合員に知られていなければ意味がない。教育機会を活用し、組合の存在意義を認知してもらえよう取り組みを進めていきた。◆乗務員共済は組合員であることが加入資格となっている。乗務員共済運営委員会でも議論しており、加入資格についてどう取り扱うべきかという議論が挙がった。65歳以降の掛金は功労給付から抽出してはどうかという提案も出た。引き続きどうあるべきか協議していかたい。

◆制度改善を図ってもそれが組合員に知られていなければ意味がない。教育機会を活用し、組合の存在意義を認知してもらえよう取り組みを進めていきた。◆乗務員共済は組合員であることが加入資格となっている。乗務員共済運営委員会でも議論しており、加入資格についてどう取り扱うべきかという議論が挙がった。65歳以降の掛金は功労給付から抽出してはどうかという提案も出た。引き続きどうあるべきか協議していかたい。

◆制度改善を図ってもそれが組合員に知られていなければ意味がない。教育機会を活用し、組合の存在意義を認知してもらえよう取り組みを進めていきた。◆乗務員共済は組合員であることが加入資格となっている。乗務員共済運営委員会でも議論しており、加入資格についてどう取り扱うべきかという議論が挙がった。65歳以降の掛金は功労給付から抽出してはどうかという提案も出た。引き続きどうあるべきか協議していかたい。

◆制度改善を図ってもそれが組合員に知られていなければ意味がない。教育機会を活用し、組合の存在意義を認知してもらえよう取り組みを進めていきた。◆乗務員共済は組合員であることが加入資格となっている。乗務員共済運営委員会でも議論しており、加入資格についてどう取り扱うべきかという議論が挙がった。65歳以降の掛金は功労給付から抽出してはどうかという提案も出た。引き続きどうあるべきか協議していかたい。

短時間勤務用の行路を新設された。  
◆交運共済のこくみん共済coopへの契約移転に伴い作業が予想されるが、現時点での進捗を教えてください。

武智副執行委員長

◆これまでも有休からの復職については様々な意見をいただいてきた。それを受けて、総合労働協約改訂や春闘交渉において短時間勤務制度適用対象の拡大や昇給の取扱い改善等を図ってきたところ。時間休について、作業ダイヤに基づき業務を行う職場もあり、難しいところはあるが、多くの職場で導入が図られるよう制度にできないか交渉で訴えかけてきた。  
◆有休から復帰後の職場について、JR四国のみではなくグループ会社も含めた職域の確保について、新たな働き場所の確保に図れないか議論していききたい。

中野書記長

◆短時間勤務や時間休について、後ろ向きなわけではなく、鉄道が24時間365日動いていることを考えれば、作業ダイヤの中には誰かがいないといけない。事実として例えば1時間だけ休むというところが難しいところもあるだろうし、日中の短時間の作業ダイヤを作る他の誰かに負担がかかるかも知れない。どこで折り合いがつかぬのか、今後全体で議論を深めていきたい。育児や介護は女性のみならず男性にも関係する。提案(素案)も含めて、皆様から積極的に意見をいただき、検討していききたい。



◆ハラスメント防止関連法の制定により、会社の規程にも盛り込まれている。様々なハラスメント問題があるかと思うが、労働組合として無関心でいるつもりは全くなく、相談を受ければ会社の然るべき部署に伝え対処を要請している。一方で、本人を含めて事実確認を行うのは会社である。その中身についてまで労働組合が立ち入ることにはできないが、組合としても対処していく。組合として相談窓口を設けるかどうかについては今後検討していききたい。

中野執行委員



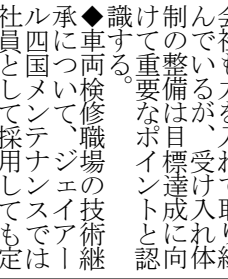
◆交運共済の契約移転について、これまでの間、協力団体となるかどうかの議論を行い、第7回本部執行員会において協力団体として加盟する方針を決定した。これからは、運動方針に示したように、どの共済の何に加入しているのかを確認していくこととなり、支部大会、分会大会で役員の皆様はその説明をしていただくこととなる。また、来年1月以降からは自身の加入状況を確認し、契約移転の手続きに入っていくこととなる。基礎的な商品知識を説明できる資料等も検討していくので、各支部・分会役員には協力をお願いする。

矢野特別代議員

◆今回のダイヤ改正にて、香川支部が策定した「働き方改革創案アクションプラン2021」に基づき大幅に改善が図られた。この場を借りて御礼申し上げる。

◆女性乗務員の受け入れ体制について、近年女性乗務員も増加しているが、設備・環境面での整備が十分ではない。女性乗務員の配属がない徳島・宇和島地区の各運転区所でも性別で勤務場所が制限されることのないよう申し入れをお願いする。女性社員の採用・定着化に会社も力を入れて取り組んでいるが、受け入れ体制の整備は目標達成に向けて重要なポイントと認識する。

河野代議員



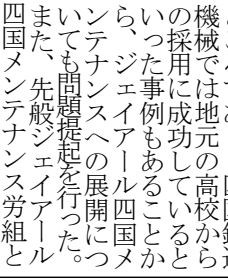
◆車両検修職場の技術継承について、ジェイアール四国メンテナンスでは社員として採用しても定着率が低いと聞く。JR四国の技術管理においても、人員増が図られない状態にある。四国4県全てで人員不足というわけではなく、要員需給が逼迫している現場については、出向や逆出向を活用して負担軽減を図り、技術が維持できるようにお願いする。多度津工場も含め、人材の相互交流を図り、希望勤務地に就けるよう配慮し、人員確保と技術力の維持を図る必要があると考えている。

武智副執行委員長

◆アクションプランで示された内容が、ロング行路の分割乗務や徳島地区などについてなっている。引き続き改善が図られるよう会社にも求めていきたい。

◆2022春闘における8項目の改善、定期昇給の確保に御礼を申し上げる。また、ダイヤ改正ではロング行路が伊予西条での乗り継ぎとなり泊まり行路でも休息時間が確保できるなど改善が図られている。引き続き負担軽減の取り組みをお願いする。また、この厳しい状況下であったが、夏季手当は1.35ヶ月確保となり、感謝申し上げる。期末手当も生活給の一部であり、年末手当では1.6ヶ月を目標として頑張っていた。伊予灘もがたりの運行日について、金土日の定期運行のほか、団体が入れ火木も加えた週5日運行が実現できたことは、組合員の皆様にも喜んでもらえる成果になったのではないかと考えている。引き続き働く側の視点から会社に働きかけを行っていききたい。

中野執行委員



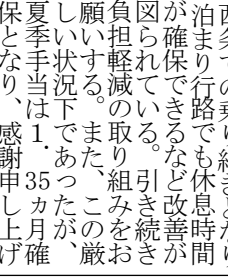
◆アクションプランで提示したことが実現できたことは、組合員の皆様にも喜んでもらえる成果になったのではないかと考えている。引き続き働く側の視点から会社に働きかけを行っていききたい。

女性社員の増加について

◆女性社員の増加について、会社が行動目標を立て、採用に取り組んでいるが、職域の拡大も重要な要素であると考えている。社にも強く訴えていきたい。また、先般JR連合が第4次男女平等参画推進計画を策定し、行動目標や数値目標が設定されている。女性組合員の意見を反映するためには、女性組合員の参画が必要。ご協力をお願いする。

◆春闘交渉では組合員の皆様の頑張り強く訴えた結果、ベアや休日増を実現するほど、定期昇給がなかったが、定期昇給が確保されたことは、秋の総合労働協約の改定交渉では、少しでも制度が改善できるように取り組んでいきたい。

武智副執行委員長



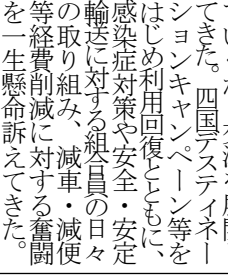
◆春闘交渉では組合員の皆様の頑張り強く訴えた結果、ベアや休日増を実現するほど、定期昇給がなかったが、定期昇給が確保されたことは、秋の総合労働協約の改定交渉では、少しでも制度が改善できるように取り組んでいきたい。

伊予灘もがたりの運行日について

◆伊予灘もがたりの運行日について、金土日の定期運行のほか、団体が入れ火木も加えた週5日運行が実現できたことは、組合員の皆様にも喜んでもらえる成果になったのではないかと考えている。引き続き働く側の視点から会社に働きかけを行っていききたい。

◆その後四国鉄道機械が担当することとなったが、異常時対応等調整すること、メンテナンス側で対応ができることは利点があるものの、要員に見合った業務量となるよう訴えかけていきたい。

河野代議員



◆その後四国鉄道機械が担当することとなったが、異常時対応等調整すること、メンテナンス側で対応ができることは利点があるものの、要員に見合った業務量となるよう訴えかけていきたい。

内勤者の仕事が魅力あるものとなるためには

◆内勤者の仕事が魅力あるものとなるためには、業務に見合った賃金に加えて、働き過ぎにならないよう業務量の軽減も必要と考える。合わせて取り組みんでいきたい。

◆JR他社では「女性のためのキャリアデザインガイド」という冊子を作っており、女性社員がどういった職場でどういった仕事に従事しているか、本人の言葉とともに示している。こうした取り組みは、他の女性社員にとっても自分の行く先を見据えるために有用と捉えられており、会社にもそうした取り組みを実施するよう働きかけている。

矢野特別代議員



◆女性社員のキャリアデザインについて、女性社員も増加傾向にあるが、配属箇所によらずとも女性管理者がいるわけではなく、不安や困ったことを相談できないという声を聞く。また、身近に女性管理者がいないことから、キャリアプランを描きにくく、将来に対する不安も感じている。女性管理者や指導担当の配置を進めていただきたい。あわせて、JR他社では女性のためのキャリアデザインを会社が示している。女性組合員が将来に不安を抱くことなく働き続けられるような取り組みをお願いする。

出産後の働き方について

◆出産後の働き方について、育休後復職する女性社員が増えたことが、中には子育てと仕事の両立が難しく、離職を選択する者もいる。ライフステージに合わせた異動や職場・職種を問わず短時間勤務が可能となれば、仕事と子育ての両立がしやすい。制度改善をお願いするとともに、今後も声を上げやすい環境作りをお願いする。

◆JR他社では「女性のためのキャリアデザインガイド」という冊子を作っており、女性社員がどういった職場でどういった仕事に従事しているか、本人の言葉とともに示している。こうした取り組みは、他の女性社員にとっても自分の行く先を見据えるために有用と捉えられており、会社にもそうした取り組みを実施するよう働きかけている。

石川執行委員



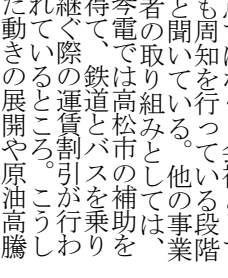
◆JR他社では「女性のためのキャリアデザインガイド」という冊子を作っており、女性社員がどういった職場でどういった仕事に従事しているか、本人の言葉とともに示している。こうした取り組みは、他の女性社員にとっても自分の行く先を見据えるために有用と捉えられており、会社にもそうした取り組みを実施するよう働きかけている。

公共交通の連携について

◆公共交通の連携について、今年4月からJR四国と徳島バスとの共同経営がスタートした。全国では初の試みであり、平均運行間隔が20分以上短縮されるなど、利便性向上に大きく貢献することが期待される。こうした事例を積み重ねていき、お客様がご利用いただき

◆駅・ワープについて、効率化施策が進められていくが、実施するかどうかの程度効率化が図れたのか、効果を数字で示せるものがあればご教示いただきたい。また、今後の見通しや計画についても分かっていることがあれば教えていただきたい。利用が戻りつつある状況でワーププラザが廃止されれば近隣の店舗の業務

田内代議員



◆駅・ワープについて、効率化施策が進められていくが、実施するかどうかの程度効率化が図れたのか、効果を数字で示せるものがあればご教示いただきたい。また、今後の見通しや計画についても分かっていることがあれば教えていただきたい。利用が戻りつつある状況でワーププラザが廃止されれば近隣の店舗の業務

駅・ワープについて

◆駅・ワープについて、効率化施策が進められていくが、実施するかどうかの程度効率化が図れたのか、効果を数字で示せるものがあればご教示いただきたい。また、今後の見通しや計画についても分かっていることがあれば教えていただきたい。利用が戻りつつある状況でワーププラザが廃止されれば近隣の店舗の業務

量が増えることも危惧される。駅業務は介助などの人の手を必要とする業務が多く、それらは効率化できない。また、乗務員等への転出等により人員の定着も図れておらず、技術継承にも課題がある。適切な要員配置や計画的な昇格、契約社員や賃金の改善等が図られなければ駅における離職も歯止めがかからない。本部の見解を伺いたい。

◆昨夏の大雨では、運休と運転再開が繰り返され、現場でも混乱が生じお客様にも迷惑をお掛けしました。今後も大雨や台風等が予想されるが、計画的な運休など早めの判断を要望された。

### 武智副執行委員長

（自動車業務委員会）

◆旅行業体制について、会社からは、コロナ禍における需要変化、収支の悪化を踏まえ、観光推進施策の影響も効果率化を目的に体制を見直すこととしたとの説明を受けている。今後の展望について、鉄道会社であること



武智副執行委員長

を活かし観光列車を活用した商品企画、こんびら歌舞伎や瀬戸内国際芸術祭など四国ならではの観光資源を商品化する重要な事業として、今後も展開していくほか、Web販売やユニット販売の強化をするということだ。近隣のワープ店舗への影響も懸念しているかと思

うが、チケットレスサービスやネット販売へのシフトも同時に図っていくとのことである。

### 中村書記長

◆コロナ以前の状況に合わせ、お客様が戻ってきた場合、発着の手不足に陥るリスクと想定される。しかし、鉄道も同様であるが、コロナ収束後に需要が100%に戻るまで、それとも80%や90%までしか回復しないのか、現時点では難しいが、この見極めがまず必要ではないだろうか。

### 増田特別代議員

（工務部会）

◆現状では今の需要を踏まえ、例えば運行間隔を1時間から1時間半にするといったダイヤ改正もしている。結果としてジェイアール四国バスの持分が減ったとしても、それが乗務員の数に同じような適正な事業範囲にならなければ、利益率としては同じになる。そうしていることに基づき対処していることも必要と考えており、引き続き会社と議論していききたい。また、55歳以上の賃金について、昨年の総合労働協約改訂交渉で一定の底上げが図られたものの、これは国鉄時代の流れを受けた制度である。鉄道も同様に提言（素案）に示したとおり、皆様と議論の上、JR時代に合った賃金方

### 小笠原代議員

（香川支部）

◆信用降車型ワンマン列車について、高徳線と徳島線に拡大されたが、今も拡大しているのか。今も車見張員や作業員が列車の位置情報を把握し、列車接近を知ることで、列車の位置情報や装置の導入が必要と考える。

### 武智副執行委員長

（信用降車型ワンマン運

転の拡大について、高松地区で導入されて以降、高徳線、徳島線に拡大された。先日の経営協議会では来春伊予西条・松山間の実施予定が明らかとなった。具体的な列車については説明を受けていないが、6本拡大されることである。拡大にあたり「安全の担保が必要」と一貫して訴えておられ、徳島線での導入時には乗降促進装置の設置を求めている。本来であれば、半導体不足の影響により遅れており、2023年度末までには工事を完了するとの見込みである。また、運賃を適切にお支払いいただくような仕組みも必要で、こうした課題が解消されているか、問題が新たに発生していないか検証が必要だと経営協議会等の場で申し上げた。引き続き問題点があればお知らせいただきたい。

### 大矢代議員

（本社支部）

◆会社はGood Challengeを掲げ、従来の進め方や組織風土に捉われず業務を見直し、生産性向上を図ろうとしている。しかし、目の前の業務を進めながら新しい方策を考えるには労力を伴う。必要なのは、労力をかねてより要望しているが改善されおらず、特にデジタル推進体制に不足を感じており、担当者が個別にデジタル化に対応して、職場横断的なデジタル推進が図られていない。例えば営業部では、Web販売の対応においてデジタル化されているのは申し込み部分のみであり、後方業務は全て手作業である。省力化を進める意味では一連の流れをシステム化するべきであり、それをサポートする見直しと合わせ、JR他社ではDX推進戦略を策定し、取り組みを進める気概を感じることが当社には足りない。ビジョンで掲げた目標達成に向けて、組織体制の整備等組合からも申し入れていただきたい。

### 武智副執行委員長

（準組合員の処遇改善に

ついて、昨年の総合労働協約改訂交渉において、事務職等のバスナー社員の基本賃金が1,650円上積みされたことに御礼申し上げる。引き続き準組合員がモチベーション高く働くことのできるよう改善を図られた。また、準組合員には現在退職手当が支給されない。老後を考えると、全く何もないというのは不安との声も聞かれるところ。長年働く意欲がある無期雇用契約社員の意欲向上のため、引き続き働きかけをお願いする。

### 武智副執行委員長

（ジョブローテーション

の取り組みについては、実施する際にどういった問題点があるか、検討を深める必要があると認識する。多くの組合員と色々な議論を重ねた上で検討していききたい。

### 武智副執行委員長

（かねてより係数の撤廃

について求められたことであるが、制度ができた当時の年金等公的制度も変わってきたことを踏まえた見直しが必要と認識する。交渉ではさらに強く訴えかけていきたいと考えている。

### 中野執行委員

（参議院選挙の取り組み

については前述したとおり、引き続き組織・政治・政策がリンクするよう取り組みたい。香川支部としても香川県協の取り組みへの協力をよろしく願います。

### 新代議員

（香川支部）

◆多度津工場近代化工事が進められているが、工場のレイアウトも、機械をパズルのように入れ替えていくように、現場の意見は取り入れられている。完成したら、現場の勝手が悪く仕事ができないのでは意味がない。

か。現状では今の需要を踏まえ、例えば運行間隔を1時間から1時間半にするといったダイヤ改正もしている。結果としてジェイアール四国バスの持分が減ったとしても、それが乗務員の数に同じような適正な事業範囲にならなければ、利益率としては同じになる。そうしていることに基づき対処していることも必要と考えており、引き続き会社と議論していききたい。また、55歳以上の賃金について、昨年の総合労働協約改訂交渉で一定の底上げが図られたものの、これは国鉄時代の流れを受けた制度である。鉄道も同様に提言（素案）に示したとおり、皆様と議論の上、JR時代に合った賃金方

### 中村書記長

（瀬路内作業に対するハ

ード対策は必須と考えており、線り返し申し入れてきたところ、経営協議会の回答でもようやく会社から具体的な内容が明らかになり始めた。具体的にはJR他社が使用しているハード対策を勉強していくというところではあるが、今取り組まなくていつやるのかという話であり、引き続きしっかりと訴えていきたい。

### 武智副執行委員長

（信用降車型ワンマン運

転の拡大について、高松地区で導入されて以降、高徳線、徳島線に拡大された。先日の経営協議会では来春伊予西条・松山間の実施予定が明らかとなった。具体的な列車については説明を受けていないが、6本拡大されることである。拡大にあたり「安全の担保が必要」と一貫して訴えておられ、徳島線での導入時には乗降促進装置の設置を求めている。本来であれば、半導体不足の影響により遅れており、2023年度末までには工事を完了するとの見込みである。また、運賃を適切にお支払いいただくような仕組みも必要で、こうした課題が解消されているか、問題が新たに発生していないか検証が必要だと経営協議会等の場で申し上げた。引き続き問題点があればお知らせいただきたい。

### 大矢代議員

（本社支部）

◆会社はGood Challengeを掲げ、従来の進め方や組織風土に捉われず業務を見直し、生産性向上を図ろうとしている。しかし、目の前の業務を進めながら新しい方策を考えるには労力を伴う。必要なのは、労力をかねてより要望しているが改善されおらず、特にデジタル推進体制に不足を感じており、担当者が個別にデジタル化に対応して、職場横断的なデジタル推進が図られていない。例えば営業部では、Web販売の対応においてデジタル化されているのは申し込み部分のみであり、後方業務は全て手作業である。省力化を進める意味では一連の流れをシステム化するべきであり、それをサポートする見直しと合わせ、JR他社ではDX推進戦略を策定し、取り組みを進める気概を感じることが当社には足りない。ビジョンで掲げた目標達成に向けて、組織体制の整備等組合からも申し入れていただきたい。

### 武智副執行委員長

（準組合員の処遇改善に

ついて、昨年の総合労働協約改訂交渉において、事務職等のバスナー社員の基本賃金が1,650円上積みされたことに御礼申し上げる。引き続き準組合員がモチベーション高く働くことのできるよう改善を図られた。また、準組合員には現在退職手当が支給されない。老後を考えると、全く何もないというのは不安との声も聞かれるところ。長年働く意欲がある無期雇用契約社員の意欲向上のため、引き続き働きかけをお願いする。

### 武智副執行委員長

（ジョブローテーション

の取り組みについては、実施する際にどういった問題点があるか、検討を深める必要があると認識する。多くの組合員と色々な議論を重ねた上で検討していききたい。

### 武智副執行委員長

（かねてより係数の撤廃

について求められたことであるが、制度ができた当時の年金等公的制度も変わってきたことを踏まえた見直しが必要と認識する。交渉ではさらに強く訴えかけていきたいと考えている。

### 中野執行委員

（参議院選挙の取り組み

については前述したとおり、引き続き組織・政治・政策がリンクするよう取り組みたい。香川支部としても香川県協の取り組みへの協力をよろしく願います。

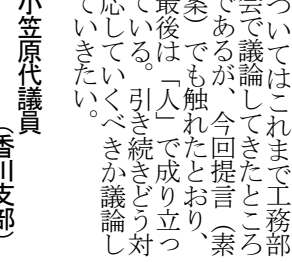
### 新代議員

（香川支部）

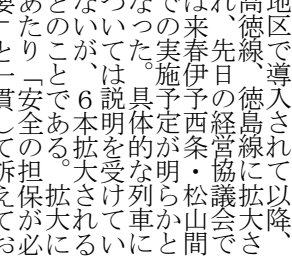
◆多度津工場近代化工事が進められているが、工場のレイアウトも、機械をパズルのように入れ替えていくように、現場の意見は取り入れられている。完成したら、現場の勝手が悪く仕事ができないのでは意味がない。



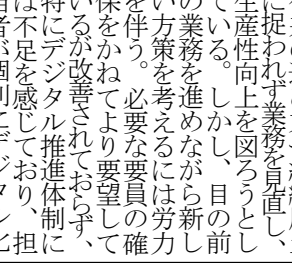
増田特別代議員



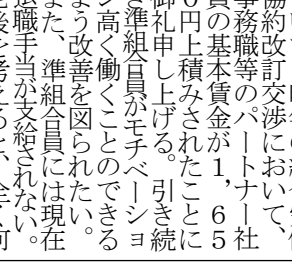
小笠原代議員



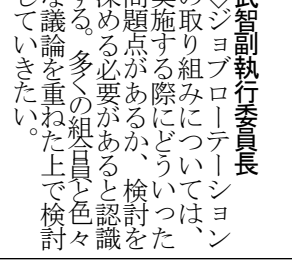
武智副執行委員長



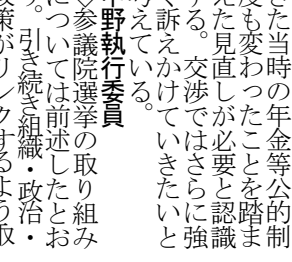
大矢代議員



池田代議員



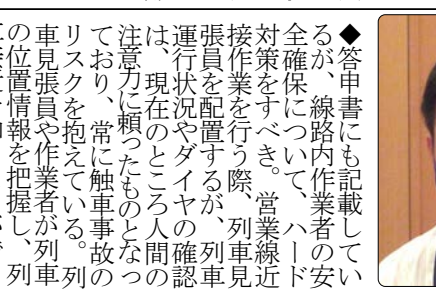
村田代議員



村田代議員

（香川支部）

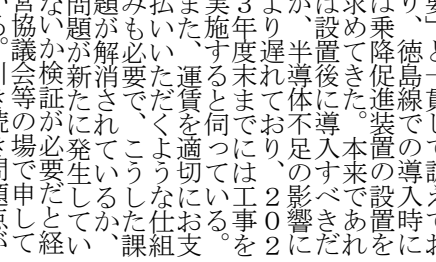
（香川支部）



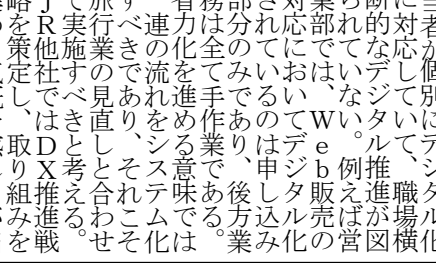
中村書記長



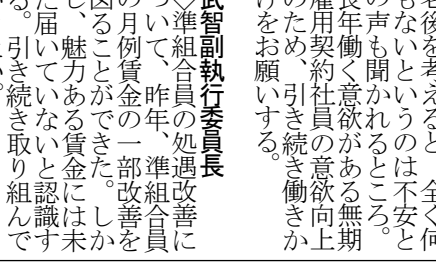
中村書記長



中村書記長



中村書記長



中村書記長



中村書記長



中村書記長

（香川支部）

（香川支部）

量が増えることも危惧される。駅業務は介助などの人の手を必要とする業務が多く、それらは効率化できない。また、乗務員等への転出等により人員の定着も図れておらず、技術継承にも課題がある。適切な要員配置や計画的な昇格、契約社員や賃金の改善等が図られなければ駅における離職も歯止めがかからない。本部の見解を伺いたい。

◆昨夏の大雨では、運休と運転再開が繰り返され、現場でも混乱が生じお客様にも迷惑をお掛けしました。今後も大雨や台風等が予想されるが、計画的な運休など早めの判断を要望された。

### 武智副執行委員長

（旅行業体制について、

会社からは、コロナ禍における需要変化、収支の悪化を踏まえ、観光推進施策の影響も効果率化を目的に体制を見直すこととしたとの説明を受けている。今後の展望について、鉄道会社であること

### 中村書記長

（コロナ以前の状況にま

合わせ、お客様が戻ってきた場合、発着の手不足に陥るリスクと想定される。しかし、鉄道も同様であるが、コロナ収束後に需要が100%に戻るまで、それとも80%や90%までしか回復しないのか、現時点では難しいが、この見極めがまず必要ではないだろうか。

### 増田特別代議員

（工務部会）

◆現状では今の需要を踏まえ、例えば運行間隔を1時間から1時間半にするといったダイヤ改正もしている。結果としてジェイアール四国バスの持分が減ったとしても、それが乗務員の数に同じような適正な事業範囲にならなければ、利益率としては同じになる。そうしていることに基づき対処していることも必要と考えており、引き続き会社と議論していききたい。また、55歳以上の賃金について、昨年の総合労働協約改訂交渉で一定の底上げが図られたものの、これは国鉄時代の流れを受けた制度である。鉄道も同様に提言（素案）に示したとおり、皆様と議論の上、JR時代に合った賃金方

### 小笠原代議員

（香川支部）

◆信用降車型ワンマン列車について、高徳線と徳島線に拡大されたが、今も拡大しているのか。今も車見張員や作業員が列車の位置情報を把握し、列車接近を知ることで、列車の位置情報や装置の導入が必要と考える。

### 武智副執行委員長

（信用降車型ワンマン運

転の拡大について、高松地区で導入されて以降、高徳線、徳島線に拡大された。先日の経営協議会では来春伊予西条・松山間の実施予定が明らかとなった。具体的な列車については説明を受けていないが、6本拡大されることである。拡大にあたり「安全の担保が必要」と一貫して訴えておられ、徳島線での導入時には乗降促進装置の設置を求めている。本来であれば、半導体不足の影響により遅れており、2023年度末までには工事を完了するとの見込みである。また、運賃を適切にお支払いいただくような仕組みも必要で、こうした課題が解消されているか、問題が新たに発生していないか検証が必要だと経営協議会等の場で申し上げた。引き続き問題点があればお知らせいただきたい。

### 大矢代議員

（本社支部）

◆会社はGood Challengeを掲げ、従来の進め方や組織風土に捉われず業務を見直し、生産性向上を図ろうとしている。しかし、目の前の業務を進めながら新しい方策を考えるには労力を伴う。必要なのは、労力をかねてより要望しているが改善されおらず、特にデジタル推進体制に不足を感じており、担当者が個別にデジタル化に対応して、職場横断的なデジタル推進が図られていない。例えば営業部では、Web販売の対応においてデジタル化されているのは申し込み部分のみであり、後方業務は全て手作業である。省力化を進める意味では一連の流れをシステム化するべきであり、それをサポートする見直しと合わせ、JR他社ではDX推進戦略を策定し、取り組みを進める気概を感じることが当社には足りない。ビジョンで掲げた目標達成に向けて、組織体制の整備等組合からも申し入れていただきたい。

### 武智副執行委員長

（準組合員の処遇改善に

ついて、昨年の総合労働協約改訂交渉において、事務職等のバスナー社員の基本賃金が1,650円上積みされたことに御礼申し上げる。引き続き準組合員がモチベーション高く働くことのできるよう改善を図られた。また、準組合員には現在退職手当が支給されない。老後を考えると、全く何もないというのは不安との声も聞かれるところ。長年働く意欲がある無期雇用契約社員の意欲向上のため、引き続き働きかけをお願いする。

### 武智副執行委員長

（ジョブローテーション

の取り組みについては、実施する際にどういった問題点があるか、検討を深める必要があると認識する。多くの組合員と色々な議論を重ねた上で検討していききたい。

### 中野執行委員

（参議院選挙の取り組み

については前述したとおり、引き続き組織・政治・政策がリンクするよう取り組みたい。香川支部としても香川県協の取り組みへの協力をよろしく願います。

### 新代議員

（香川支部）

◆多度津工場近代化工事が進められているが、工場のレイアウトも、機械をパズルのように入れ替えていくように、現場の意見は取り入れられている。完成したら、現場の勝手が悪く仕事ができないのでは意味がない。

小まめに情報開示や意見集約等を行っていただきたい。

◆休日数について、増やすことには賛成だが、現在の人員や業務内容のまま休日数を増やしたとしても、勤務日の作業量が減るだけで、安全性が欠けることを懸念する。人員構成や業務内容等の見直しや管理を適切に行っていただきたい。

**武智副執行委員長**  
◇近代化工事の進捗に関して現場に正確な情報が伝わっていないとのことだが、会社に対し、現場と適切にやり取りしながら進めるよう訴えたい。10年かけて進めていく工事であり、良いものを作るためにも意見交換が必要である。

◇年間休日が増えれば要員に影響することは交渉でも議論してきた。増えたことでしわ寄せが生じては意味がない。休日数を増やすこととあわせて、要員確保や業務改善が進むよう交渉していきたい。

**佐々木代議員** (愛媛支部)  
◆今後実施される業務体制の見直しや省人化・省力化の予定がわかっているが、教えていただきたい。

◆提言(素案)では、「地域に根ざした生活の確保」と銘打たれていたが、実現のための具体的な方策を確実に実施していただきたい。そのためには、業務体制の見直しにより職場がなくなると矛盾が生じる。会社としてしっかり交渉していただきたい。



**武智副執行委員長**  
◇業務体制の見直しについて、現時点では先般説明を受けた旅行業体制の見直し以外の説明は受けていない。宇和島運転区では車掌業務の移管が行われたが、何か問題点があれば引き続きお知らせいただきたい。

**今井代議員** (愛媛支部)  
◆単身赴任手当の増額もしくは家賃補助、帰省手当等の新設をお願いしたい。手当の新設が難しいのであれば、特急列車が利用できる通勤バスを発行するなどの対応をお願いする。



**武智副執行委員長**  
◇単身赴任手当は、直近では2019年の春闘交渉において27,000円から30,000円に増額を図ることができた。しかし、最近の物価上昇や期末手当の支給月数が減少したこともあり、家計が厳しいことは認識している。期末手当の支給月数を上げていくよう取り組むほか、各種手当の増額についても昨年度での総合労働協約改訂交渉で改善が図れていないものもあることから、組合員の皆様の声を反映できるように交渉に臨んでいく。

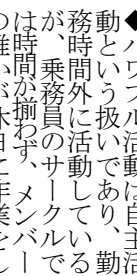
**武智副執行委員長**  
◇停止位置目標建植位置の統一・簡素化については、これまで申し入れてきたが、各運転区所でも調査を実施し、早急に対処すべき箇所をリストアップし、信用降車型ワンマン運転拡大の際に関係する工事にあわせて進めたい。それ以外の箇所についても補助票を活用した整備を図るとの説明を受けている。停止位置目標がわかりにくければ、それだけ事故発生リスクも高くなる。引き続き具体的な箇所について諸問題でも報告をいただきたい。

**中川特別代議員** (運転部会)  
◆停止位置目標建植位置の統一と簡素化については以前から申し入れていたが、完遂には至っていない。今年4月には、予讃線北伊予駅において、回6M列車が隣接線の停止位置目標を自列車のものと同水準で軌道回路を遮断し、本線列車に遅れが生じる事故が発生した。以前から危険

**富登特別代議員** (本社支部青女)  
◆制服について、女性の制帽は内側が紙素材でできており、雨に打たれただけでも形が変わってしまう。水洗いでもできず不衛生であるから、水洗いできる素材に変更していただくか、せめて年1回程度の頻度で定期交換していただく。また、ワイシャツについても貸与と夏衣は男女ともに貸与されているが、冬服は女性のみワイシャツが貸与されている。購入の負担を減らし、男女間の不平等をなくすために男性に対してもワイシャツの貸与、もしくは購入時の補助等を検討いただきたい。



**武智副執行委員長**  
◇オフィスカジュアルについて、本社では女性のオフィスカジュアルが認められ、男性はクルーズ期間以外は襟付きのワイシャツにネクタイ、上着着用が基本となっている。働きやすい職場作りの観点からも、服装による調整ができるようオフィスカジュアルを認めていただきたい。



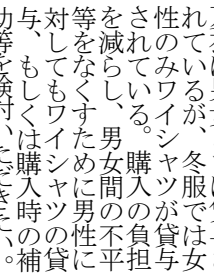
**武智副執行委員長**  
◇オフィスカジュアルについて、本社では女性のオフィスカジュアルが認められ、男性はクルーズ期間以外は襟付きのワイシャツにネクタイ、上着着用が基本となっている。働きやすい職場作りの観点からも、服装による調整ができるようオフィスカジュアルを認めていただきたい。

**武智副執行委員長**  
◇オフィスカジュアルについて、本社では女性のオフィスカジュアルが認められ、男性はクルーズ期間以外は襟付きのワイシャツにネクタイ、上着着用が基本となっている。働きやすい職場作りの観点からも、服装による調整ができるようオフィスカジュアルを認めていただきたい。

**今田特別代議員** (香川支部青女)  
◆地元等希望勤務地への配属は、人事異動に関する話であり、管理運営事項になるが、会社にはそうした要望があることを伝えておき、交渉では希望に沿うよう地元配属に配慮しているとのことである。まずは人事調整にしっかりと自身の希望勤務地を書き添えていただき、面談等で会社にしたかりと伝えていただきたい。

**武智副執行委員長**  
◇女性用の制帽に関する問題については、運輸部会からも以前意見をいただいていたほか、職場諸問題でも指摘があり、会社にも素材の変更や損耗対応を求めている。ワイシャツについても、男性にも貸与することで制服として統一を図ることもできるかと思うが、実施には費用を要するところであり、今検討していきたい。

**平田特別代議員** (香川支部青女)  
◆生理休暇がFケアに名称変更されたが、まだ女性特有の休暇というイメージが強いとの声がある。使用用途を特定されないためにも、不妊治療等女性も男性も取得しやすい環境整備をお願いしたい。



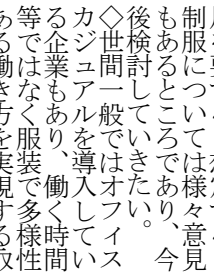
**武智副執行委員長**  
◇地元等希望勤務地への配属は、人事異動に関する話であり、管理運営事項になるが、会社にはそうした要望があることを伝えておき、交渉では希望に沿うよう地元配属に配慮しているとのことである。まずは人事調整にしっかりと自身の希望勤務地を書き添えていただき、面談等で会社にしたかりと伝えていただきたい。

**武智副執行委員長**  
◇地元等希望勤務地への配属は、人事異動に関する話であり、管理運営事項になるが、会社にはそうした要望があることを伝えておき、交渉では希望に沿うよう地元配属に配慮しているとのことである。まずは人事調整にしっかりと自身の希望勤務地を書き添えていただき、面談等で会社にしたかりと伝えていただきたい。

**石川執行委員**  
◇Fケア休暇について、名称が変わったことで「使いやすくなった」という意見が昨年のレディースマーケティングなどでも伺ったところ。内容の拡充により女性もより男性も使いやすい制度になれば、それが真に男女平等につながるかと考えている。引き続き色んな意見を踏まえて、使いやすい制度となるよう検討していきたい。

**石川執行委員**  
◇Fケア休暇について、名称が変わったことで「使いやすくなった」という意見が昨年のレディースマーケティングなどでも伺ったところ。内容の拡充により女性もより男性も使いやすい制度になれば、それが真に男女平等につながるかと考えている。引き続き色んな意見を踏まえて、使いやすい制度となるよう検討していきたい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。



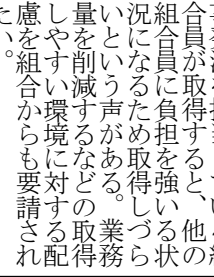
**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**石川執行委員**  
◇自動車支部青女について、人数が少なすぎている。年齢等の資格は規約の改正にも関わらず話であり、今後どうあるべきかは自動車支部内や他の支部青女の意見も踏まえて検討すべきかと考えている。今ある青女の火を消さないよう、楽しい活動ができるよう取り組んでいきたい。



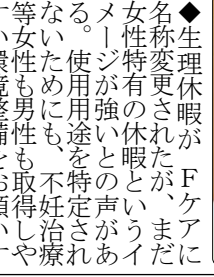
**石川執行委員**  
◇自動車支部青女について、人数が少なすぎている。年齢等の資格は規約の改正にも関わらず話であり、今後どうあるべきかは自動車支部内や他の支部青女の意見も踏まえて検討すべきかと考えている。今ある青女の火を消さないよう、楽しい活動ができるよう取り組んでいきたい。

**石川執行委員**  
◇自動車支部青女について、人数が少なすぎている。年齢等の資格は規約の改正にも関わらず話であり、今後どうあるべきかは自動車支部内や他の支部青女の意見も踏まえて検討すべきかと考えている。今ある青女の火を消さないよう、楽しい活動ができるよう取り組んでいきたい。

**石川執行委員**  
◇自動車支部青女について、人数が少なすぎている。年齢等の資格は規約の改正にも関わらず話であり、今後どうあるべきかは自動車支部内や他の支部青女の意見も踏まえて検討すべきかと考えている。今ある青女の火を消さないよう、楽しい活動ができるよう取り組んでいきたい。

**石川執行委員**  
◇自動車支部青女について、人数が少なすぎている。年齢等の資格は規約の改正にも関わらず話であり、今後どうあるべきかは自動車支部内や他の支部青女の意見も踏まえて検討すべきかと考えている。今ある青女の火を消さないよう、楽しい活動ができるよう取り組んでいきたい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。



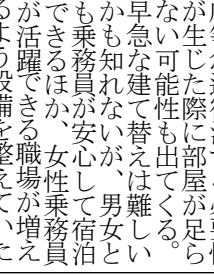
**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。



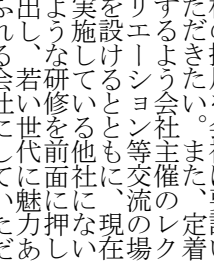
**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。



**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。

**武智副執行委員長**  
◇乗務員の軽量化については、規程類のタブレットを含めてかねてより要求している。会社からは来年度、車内補充券発行機の更新を行う際、スマートフォンを活用して発券する方式を導入すると聞いており、そこに規程類のデータも入れることができたいか訴えている。乗務員の軽量化を実現したい。



出席者から運動方針案を補強する多くの質疑が寄せられた。

**中村書記長  
総括答弁（要旨）**



中村書記長

今年2月に開催した本部委員会で、一堂に会することができなかったが、本日は規模を縮小しながらも顔をあわせての開催ができて、29名からの発言により活発な討議となつたことに対し感謝申し上げます。

JR四国グループを取り巻く環境はコロナ禍以前より人口減少・少子高齢化、高速道路網の整備とモータリゼーションの進展等から厳しさが増している。そこにコロナ禍のダメージが重なった。

「私たちが考える『持続可能なJR四国グループをつくる人財確保』」と題した新たな提言（素案）で示したとおり、JR四国グループの社会的使命は国民の足として、地域を支える企業体として重要な役割を担っている。新たな支援策もその使命を果たすために講じられている。本部委員会で総括答弁で「働く者の立場から、誇りを持ち、安心して働き続けられる環境を実現しなければ、JRが地域を支えるという役割を果たせないと訴えたい。改善の余地があるのも事実だが、仕事に誇りを持って取り組めるようにしたい。提言（素案）に対しては、今後の活動を通じて意見を頂戴したい。」

コロナ禍の収束が見通せない状況であるが、四国には不可欠な存在。そこで働く者としての誇りと安心を取り戻すべく、本日提起したスローガン、

運動方針に基づき、活動を展開する。今後の活動への理解と参画をお願いし、本日の意見を踏まえ3点について述べる。

**安全・安定・安心輸送の確立について**

「安全」はすべてに優先される最重要事項。不安全事故やヒヤリハット、ヒューマンエラーは必ず起こることを前提に考え、職場内で注意喚起し、少しでも事故等につながるようなものに努めることが安全な職場風土である。JRで働くプロとしての責任と自覚をもつて取り組みをいただきたい。

また、事故等の対策として、ルールやチェック、設備が多重化してきたことから、会社が行う「柵卸し」やデジタル推進については理解するものの、効率化を追求ばかりでなく、「安全」の観点で取り組むが進むことが必要である。組合員一人ひとりの意識を高め、安全性と生産性をともに向上させられるよう取り組みを強化しなければならない。また、JRグループ全体で見れば、毎年死亡事故が起きていることをあらためて認識し、「JR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」の完遂に向け、日々の業務ではコミュニケーションの活性化に力を入れ、安全衛生委員会等も活用しながら、安全・事故防止に努めていただきたい。

**組織の強化・拡大について**

若手・中堅層の離職に歯止めがかかっている。JRは「人」が残り続ける産業であり、人材流出は深刻な課題。「JR連合ビジョン」の実践に連合ビジョン」の実践に盛り込んできたが、今回提起した提言（素案）を議論の土台とし、労働組合の取り組みが組合員同士が支え合い、助け合いという原点に立ち戻り、役員任せではなく、参画



何事にも積極的に挑戦する熱意・方針を確認！

7月16日（土）、「ホテルアネシス瀬戸大橋」（香川県宇多津町）にお

本部青年女性会議 第30回定期委員会開催！！

ハラスメント、男女平等参画や青年の参加資格等について12名の委員から質疑があり、執行部より答弁した後、満場一致で全体的な議論が承認された。

役員改選では、これまで青年女性会議の先頭に立ち活躍した尾上副議長、谷角事務局長ほか4名が勇退し、再任された矢野議長をはじめとする総勢18名での新体制がスタートした。

その後、山本副議長より委員会宣言案が提起され、承認の後、コロナ禍動方針案を提起。質疑では、安全、職場環境・労働条件の改善、カスタマー

**本部青年女性会議 第30回定期委員会開催！！**

7月6日（木）、JR四国労組議員団会議の山本悟史団長（香川県議員）が、香川県議会一般質問において「持続可能な公共交通ネットワークの構築」と題して「四国への新幹線導入」について意見を述べた。

山本団長は、「コロナ禍で交流人口が激減し、JRをはじめとする公共交通機関の経営が厳しい状況に陥っている。現状に耐え、線区別収支の公表状況を踏まえ、『民間会社化に責任を一方的に押しつけて何とかなる状況ではない』と指摘。必要ない支援を訴えるとともに、公共交通ネットワークの維持や四国新幹線の導入に関することを発言。香川県浜田知事より一県内幹線交通の将来需要を推計し、一層の利用促進を図るとともに、事業者と連携し、新幹線を骨格とした利便性と結節性について議論を行った。

優れた持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて積極的に取り組む」との答弁を引き出した。



山本 悟史団長（香川県議員）

山本団長は、「コロナ禍で交流人口が激減し、JRをはじめとする公共交通機関の経営が厳しい状況に陥っている。現状に耐え、線区別収支の公表状況を踏まえ、『民間会社化に責任を一方的に押しつけて何とかなる状況ではない』と指摘。必要ない支援を訴えるとともに、公共交通ネットワークの維持や四国新幹線の導入に関することを発言。香川県浜田知事より一県内幹線交通の将来需要を推計し、一層の利用促進を図るとともに、事業者と連携し、新幹線を骨格とした利便性と結節性について議論を行った。」

大執行委員長の発声で、明るい未来に向かって団結カンパロー！

**第1回本部執行委員会開催**



- 7月8日（金）第41回定期大会終了後、第1回本部執行委員会をJRホテルクレメント高松で開催した。経過報告及び議事は次のとおり。
- ① 経過報告
  - ② JR四国労組第41回定期大会
  - ③ 2022年度任務分担について
  - ④ 2022年度各種委員会名簿について
  - ⑤ 年間スケジュールについて
  - ⑥ 第1回業務対策委員会の開催について
  - ⑦ 部会三役会議の開催について
  - ⑧ 2022年度教育・広報委員会の開催について
  - ⑨ 2022年度サークル協議会運営委員会の開催について
  - ⑩ その他



「明るく・楽しく・元気よく」頑張ります！

**【各支部定期大会開催日程】**

- 《本社支部》 8月26日（金） 18:30～  
高松東急REIホテル
- 《愛媛支部》 9月 2日（金） 14:00～  
ホテルサンルート松山
- 《香川支部》 9月 3日（土） 13:00～  
ホテルアネシス瀬戸大橋
- 《高知支部》 9月 4日（日） 13:00～  
高知城ホール
- 《自動車支部》 9月 6日（火） 13:30～  
ホテルアネシス瀬戸大橋
- 《徳島支部》 9月 7日（水） 13:30～  
JRホテルクレメント徳島

**ユニオンスクール  
「フレッシュマンコース」開催！**

◆日時・場所  
[1回目]  
10月13日（木） 10:30～16:30  
香川県綾歌郡宇多津町浜六番丁81-1  
ホテルアネシス瀬戸大橋

[2回目]  
10月15日（土） 10:30～16:30  
香川県綾歌郡宇多津町浜六番丁81-1  
ホテルアネシス瀬戸大橋

◆対象者  
入社5年以内の組合員  
※2018年から2022年入社

希望者は別途発する開催書面を参照し、所属分会長まで申込書を提出してください。

**第32回ゴルフ大会  
の開催について**

日時 10月17日（月）  
7時30分 集合

場所 高松ゴールド  
カントリー倶楽部  
香川県綾歌郡綾川町  
粉所西340  
TEL 087-878-2200

お申込は各支部まで！